

令和14年（2032年）
第86回国民スポーツ大会
開 催 要 望 書

令和5年7月18日

山 梨 県
山 梨 県 教 育 委 員 会
公益財団法人山梨県スポーツ協会

開 催 要 望 書

公益財団法人日本スポーツ協会会長 遠藤 利明 殿

令和14年(2032年)の第86回国民スポーツ大会を山梨県において開催いたしたく、別添開催趣意書に山梨県議会の決議及び東地区各都道県体育・スポーツ協会の同意書の写しを添えて、ここに要望します。

令和5年7月18日

山 梨 県 知 事 長崎 幸太郎

山梨県教育委員会教育長 降籬 友宏

公益財団法人山梨県スポーツ協会会長 高野 剛

開 催 要 望 書

文部科学大臣 永岡 桂子 殿

令和14年(2032年)の第86回国民スポーツ大会を
山梨県において開催いたしたく、別添開催趣意書に山梨県議
会の決議及び東地区各都道県体育・スポーツ協会の同意書の
写しを添えて、ここに要望します。

令和5年7月18日

山 梨 県 知 事 長崎 幸太郎

山梨県教育委員会教育長 降籬 友宏

公益財団法人山梨県スポーツ協会会長 高野 剛

開 催 趣 意 書

国民スポーツ大会は、我が国最大のスポーツの祭典として、広く国民にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して健康の増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与してきました。

山梨県では、昭和61年、「ふれあいの輪を広げよう」をスローガンに、第41回国民体育大会「かいじ国体」を開催しました。

本大会は県民全体の限りない支援のもとで開催され、本県のスポーツを取り巻く環境が劇的に改善されるとともに、全国規模の大会を成功させたことは県民に大きな自信と活力をもたらしました。

国民スポーツ大会を本県で開催することは、スポーツの振興だけでなく、未来を担う子どもたちに多くの夢や希望を与え、県民の健康増進や共生社会の実現、地域経済の活性化など、明るく豊かな地域づくりにも大きく寄与することが期待されます。

また、来県される多くの方々に、本県が有する豊かな自然環境などの魅力を体感いただける絶好の機会となるものです。

国民スポーツ大会の招致は、スポーツ関係者をはじめ、県民をあげての強い願いであることを御賢察いただき、令和14年(2032年)第86回国民スポーツ大会を本県で開催できますよう、格別の御高配と御協力をお願い申し上げます。

開催にあたっては、「共生社会」と「持続可能性」に重点を置き、国民スポーツ大会の競技種目以外にもアーバンスポーツを積極的に取り上げ、スポーツの多様性の実現を目指していきます。また、ソフト・ハード両面において従来のやり方にとらわれない、新たな時代の持続可能な大会モデルを大胆に全国へお示しできるよう、全力で取り組むことをお誓い申し上げます。